

2025
vol.64
no. 5

写真測量とリモートセンシング

目 次

〈巻 頭 言〉 100年に一度の大変革	大木章一	179
〈カメラアイ〉 2025年3月28日ミャンマー地震の干渉 SAR による建物被害抽出 遠藤夕斗, 木戸洋斗, 田口智大 本田謙一, 西村智博, 向山 栄		180
〈原 著 論 文〉 オルソ画像と DSM を用いた高精度な 3D 屋根モデルの自動生成 李 勇鶴, 坂元光輝, 佐藤俊明		182
〈活 動 報 告〉 UAV レーザ & 写真測量講習会 活動報告 ～白河にて UAV 飛行デモ, レーザ & 写真測量講習会を 2 日間実施～	大谷仁志	195
〈活 動 報 告〉 『第21回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』開催報告 日本写真測量学会関西支部		198
〈活 動 報 告〉 The 20th International 3D GeoInfo Conference and the 9th International Smart Data and Smart Cities Conference 開催報告 3D GeoInfo & Smart Data Smart Cities 2025 国内運営委員会		200
〈活 動 報 告〉 The 9 th Asia-Pacific Conference on Synthetic Aperture Radar (AP SAR 2025) 開催報告	須崎純一	206
〈文 献 抄 録〉 佐紀古墳群 航空レーザ測量調査報告書	山本達也	210
〈文 献 抄 録〉 The Harmonized Landsat and Sentinel-2 version 2.0 surface reflectance dataset	山本浩万	211
〈会のうごき〉		213
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		214

表紙説明：宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、先進レーダ衛星「だいち 4 号」(ALOS-4: Advanced Land Observing Satellite-4) を、2024年 7 月 1 日 12 時 6 分 42 秒 (日本時間) に種子島宇宙センターから H3 ロケット 3 号機により打ち上げた。打ち上げ後、衛星の初期機能確認運用 (衛星システム及びミッション機器が所定の機能・性能を有していることの確認) を行い、現在 (2025 年 2 月時点) は搭載する L バンド合成開口レーダ「PALSAR-3」の標準プロダクトの初期校正検証を実施している。本表紙は、能登半島全域を初期校正検証期間中の 2024 年 10 月 14 日に取得したデータである (観測モード: 高分解能 3m モード・観測幅 200 km・2 偏波 (HH, HV), R/G/B に HH 偏波/HV 偏波/HH 偏波を割り当ててカラー合成)。ALOS-4 は ALOS-2 搭載の PALSAR-2 の高分解能 (3m) を維持しつつ、観測幅を 200km へ向上させている。

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧下さい。

<https://www.jsprs.jp>

E-mail: office-jsprs@jsprs.jp

編集委員

委員長	織田和夫	(アジア航測(株))
委員	石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
	上村治睦	(リモート・センシング技術センター)
	木寺幸司	(南海測量設計(株))
	窪田 諭	(関西大学)
	堺 浩一	((株)パスコ)
	白井直樹	(日本測量協会)
	高橋元気	(国際航業(株))
	高橋陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
	近津博文	(東京電機大学)
	沼尻治樹	(日本測量協会)
	野口真弓	(国土地理院)
	藤野千和子	(日本写真測量学会)
	布施孝志	(東京大学)
	政春尋志	(元 東洋大学)
	吉野邦彦	(東京大学)
	李 勇鶴	(日本大学)
	力丸 厚	(長岡技術科学大学)